

平成30年度版
アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト

実施計画成果報告

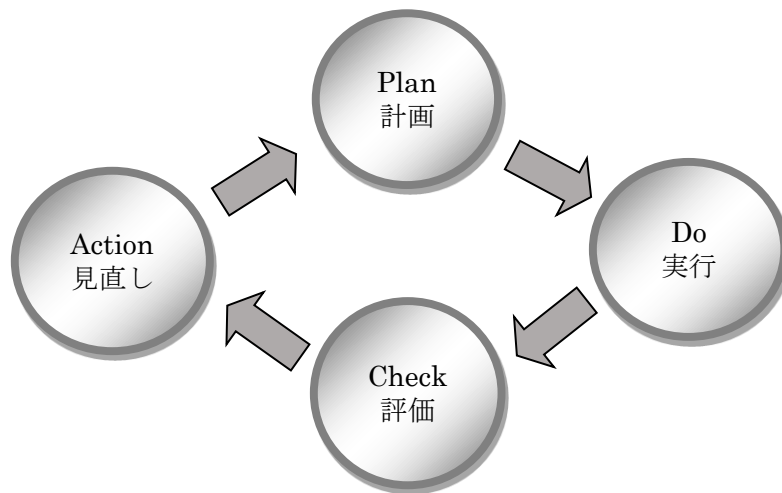
アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進協議会

平成31年3月



●アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト実施計画について

基本計画で体系化された方針に基づき、計画的・効率的な事業の進捗を図るため事業内容や年次計画を明らかにしたものです。この実施計画は諸情勢の変化に対応するために毎年度策定し、計画の評価、見直し、調整、管理を行います。



●実施計画凡例

実施計画の「事業費」欄に記載されている文言の内容は以下のとおりです。

「市負担分」

：財源を問わず鳴門市の予算として計上又は計上を予定している費用
このうち交付金等の国費充当額についてはカッコ書きで記載

「他団体負担分」

：鳴門市以外の団体の予算として計上又は計上を予定している費用

「 - 」

：事業費のうち以下のいずれかに該当する項目
・費用が発生しない又は発生しない可能性があるもの
・「なると第九」に関する取り組みが他の事業の一部として行われており
の費用の算出が困難なもの

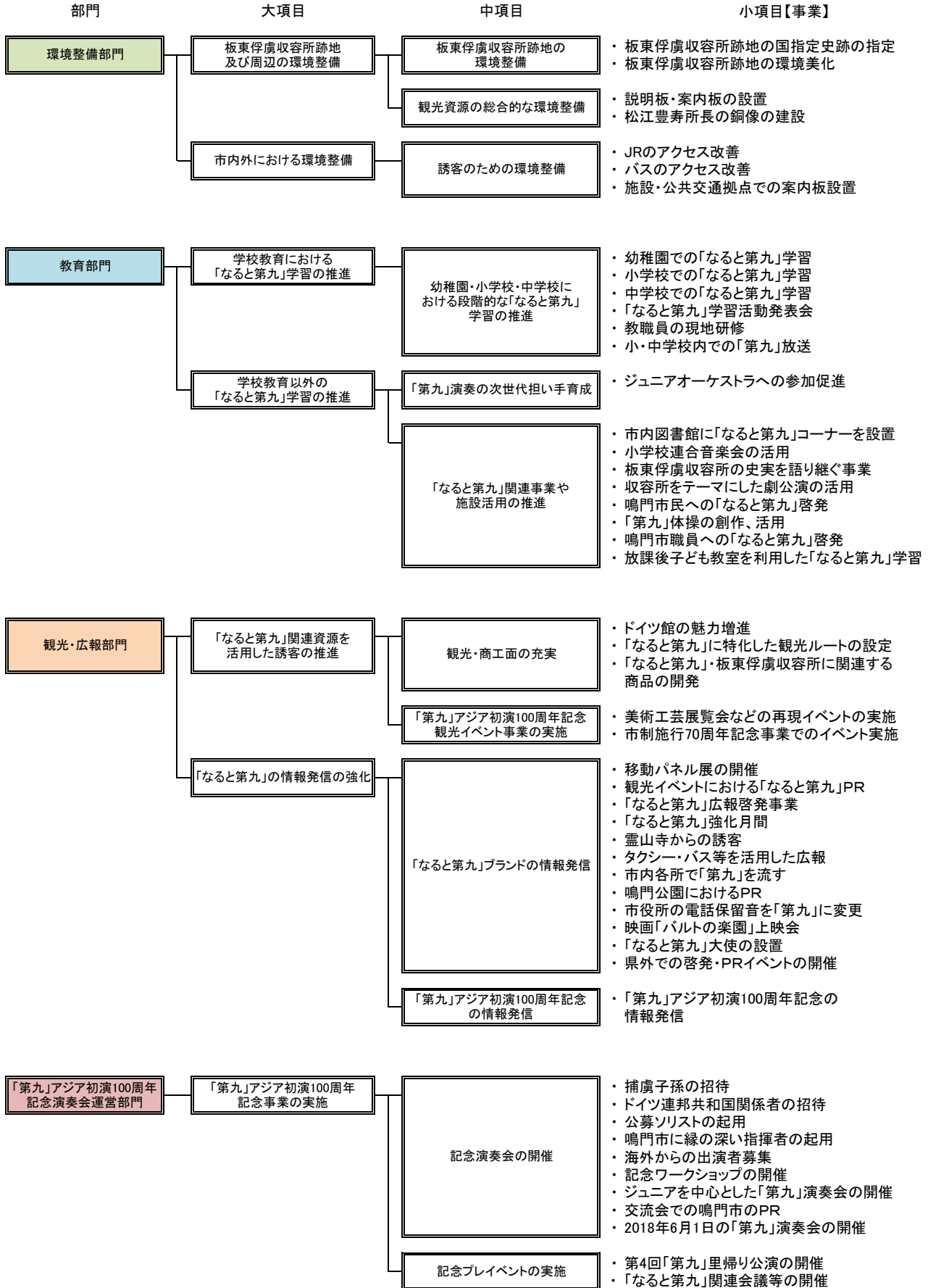
「未定」

：事業実施予定で費用の発生が見込まれるが具体的な金額が定まっていない

目 次

1. 実施計画体系図	1
2. 実施計画	
(1) 環境整備部門	
大項目1: 板東俘虜収容所跡地及び周辺の環境整備	
中項目1: 板東俘虜収容所跡地の環境整備	2
中項目2: 観光資源の総合的な環境整備	3
大項目2: 市内外における環境整備	
中項目1: 誘客のための環境整備	4
(2) 教育部門	
大項目1: 学校教育における「なると第九」学習の推進	
中項目1: 幼稚園・小学校・中学校における段階的な「なると第九」学習の推進	5
大項目2: 学校教育以外の「なると第九」学習の推進	
中項目1: 「第九」演奏の次世代担い手育成	7
中項目2: 「なると第九」関連事業や施設活用の推進	7
(3) 観光・広報部門	
大項目1: 「なると第九」関連資源を活用した誘客の推進	
中項目1: 観光・商工面の充実	10
中項目2: 「第九」アジア初演100周年記念観光イベント事業の実施	11
大項目2: 「なると第九」の情報発信の強化	
中項目1: 「なると第九」ブランドの情報発信	11
中項目2: 「第九」アジア初演100周年記念の情報発信	15
(4) 「第九」アジア初演100周年記念演奏会運営部門	
大項目1: 「第九」アジア初演100周年記念事業の実施	
中項目1: 記念演奏会の開催	16
中項目2: 記念イベントの実施	19
<<参考>> アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進協議会委員名簿	20

1. 実施計画体系図



2. 実施計画

(1) 環境整備部門

大項目1: 板東俘虜収容所跡地及び周辺環境整備

中項目1: 板東俘虜収容所跡地の環境整備

NO.1	事業名	板東俘虜収容所跡地の国指定史跡の指定	担当	市教委・生涯学習人権課
事業概要	全国で唯一残る第一次世界大戦時のドイツ兵俘虜収容所跡が国指定「史跡」となることを目指し、指定後は、観光や文化交流及び地域活動の拠点となるよう整備を促進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○境界確認作業(北部) ○土地所有者の同意取得作業	○境界確認作業(南部) ○土地所有者の同意取得作業	○土地所有者の同意取得作業	○土地所有者の同意取得作業 ○申請資料作成 ○申請書 ○10月15日で国指定史跡確定
事業費(千円)	5,384	6,249	89	2,459
市負担分(うち国費)	5,384	6,249(6,146)	89	2,459
他団体負担分				
成果	平成24年度から29年度に地籍調査や関係者との協議を行い、平成30年1月24日に鳴門市から文部科学省に対し、史跡指定に関する意見具申書(指定申請書)を提出した。文部科学省からの諮問を受け、文化審議会答申を経て、平成30年10月15日に国指定史跡となった。			

NO.2	事業名	板東俘虜収容所跡地の環境美化	担当	市・公園緑地課
事業概要	板東俘虜収容所跡地を「第九」アジア初演の地に相応しい魅力ある環境となるよう改善を図る。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○「史跡」申請の妨げにならないよう配慮したうえで環境美化について方針を検討 ○清掃規模に応じて委託業者及び協力民間団体との協議 ○除草及び樹木剪定を実施	○「史跡」申請の妨げにならないよう配慮したうえで環境美化の方針を決定 ○委託業者及び協力民間団体との協議を行い、観光資源としての魅力を維持できる環境美化を実施 ○公園内の老朽化したトイレを撤去	○清掃規模に応じて委託業者・協力民間団体との協議を行い環境美化を引き続き実施	○訪れた人々が気持ちよく跡地を見学できるように継続した環境美化に努める
事業費(千円)	2,828	2,490	984	984
市負担分(うち国費)	2,828(1,998)	2,490(2,490)	984(492)	984(492)
他団体負担分				
成果	従来の除草及び剪定の時期や箇所をなどの規模を拡大するとともに、老朽化した施設を撤去したほか、「第九」100周年の関連事業に合わせて花壇の花植えを実施するなど、環境美化を保つよう一定の改善ができた。			

中項目2: 観光資源の総合的な環境整備

NO.3	事業名	説明板・案内板の設置		担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	板東俘虜収容所跡地をはじめとした、「なると第九」関連観光資源の魅力をより認識しやすく、また一体的に捉えてもらえるような、案内板や説明板の設置を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○説明板・案内板等設置の調査・検討 ○ドイツ村公園内に案内看板等を3基、標柱1基設置	○ドイツ村公園内に説明標柱を3基設置	○説明板・案内板等設置の効果を検証	○ドイツ村公園内に説明板10基設置	
事業費(千円)	443	125	-	1,156	
市負担分(うち国費)	443(443)	125(125)		1,156	
他団体負担分					
成果	板東俘虜収容所跡地内に遺跡に関する説明板12基、案内板2基、標柱を4基を設置し、遺跡の認識を高めた。				

NO.4	事業名	松江豊寿所長の銅像建設		担当	松江豊寿銅像建立実行委員会
事業概要	当時の板東俘虜収容所長であった松江豊寿氏の功績を顕彰するとともに、歴史に対しての興味を持たせるため、縁の土地に銅像等を建設する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		○建立実行委員会の設立 ○設置候補地の選定 ○銅像等の規模検討 ○寄附金募集 ○製作に必要な資料の収集・選定 ○ガバメントクラウドファンディングによる寄附の実施	○継続実施 ○ガバメントクラウドファンディングによる寄附の実施	○銅像完成・建立 ○「第九」初演の日の6月1日に寄贈式及び除幕式挙行	
事業費(千円)	-	-	-	9,717	
市負担分(うち国費)				(クラウドファンディング2,148)	
他団体負担分				7,569	
成果	平成28年に松江豊寿銅像建立実行委員会が設立され、寄付集めやガバメントクラウドファンディングの活用などにより、建立資金の目標額を達成した。「第九」初演の日の6月1日に寄贈式及び除幕式を行い、国内外への発信に繋がった。				

大項目2:市内外における環境整備

中項目1:誘客のための環境整備

NO.5	事業名	JRのアクセス改善		担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	「第九」アジア初演100周年となる2018年(平成30年)には大麻町周辺で、まとまった期間のイベントが想定される。当イベント期間中のJRの便数の見直しを行い、アクセス状況の改善による誘客及び来客の利便性向上を図る。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		○100周年記念イベント時の来客に対応するために板東駅停車便の増便についてJR四国との協議・検討	○継続実施		
事業費(千円)	-	-	-	-	
市負担分(うち国費)					
他団体負担分					
成果	JRの増便については、一定の乗車人数見込みが必要とされており、検討が難しかった状況であったが、最終的には、ドイツ館周辺で行われるイベントに対し、路線バスの経路変更や旅行業者のツアーバス対応などによりスムーズな集客に繋がった。				

NO.6	事業名	バスのアクセス改善		担当	市・戦略企画課
事業概要	バスの路線や便数等の見直しを行い、ドイツ館等へのアクセス状況の改善による誘客及び来客の利便性向上を図る。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○市民等の意見を参考に、ダイヤ等の見直しといった改善策を検討し、運行業者と協議	○継続実施	○検討、協議結果により改善策を実施	○継続実施	
事業費(千円)	-	-	-	-	
市負担分(うち国費)					
他団体負担分					
成果	ドイツ館の開館時間を考えて、鳴門大麻線の1便についてドイツ館乗り入れを増やすとともに、高速バスが玄関口であることを考慮し、ドイツ館へ乗り入れる4便について始終点を小鳴門端停留所まで延伸する経路変更を行い集客に繋がった。				

NO.7	事業名	施設・公共交通拠点での案内板設置		担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	主に鳴門市内の観光施設や各種交通拠点、県・市の玄関口などにおいて、アクセスを促す案内板や、広報看板の設置を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○案内板等設置の調査・検討	○継続実施 ○高速バス停ほかドイツ館など市内7箇所にて案内及びPR看板を設置	○効果を検証し、案内板等設置の調査・検討	○継続実施	
事業費(千円)	-	1,593	-	-	
市負担分(うち国費)	1,593(1,593)				
他団体負担分					
成果	JR板東駅・道の駅「第九の里」前に「なると第九」周辺MAPを、ドイツ館前広場・高速鳴門立体駐車場壁面・板野町境・池高分団前・旧衛生センター敷地に啓発及び案内看板を設置し、アジア初演の地「鳴門」としての啓発を高めた。				

(2) 教育部門

大項目1: 学校教育における「なると第九」学習の推進

中項目1: 幼稚園・小学校・中学校における段階的な「なると第九」学習の推進

NO.1	事業名	幼稚園での「なると第九」学習	担当	市教委・学校教育課
事業概要	園児が「なると第九」の簡単な歴史的背景に触れるとともに、「歓喜の歌」の主旋律を原語で歌い、メロディーを覚えられるような指導体制を整える。こうした学習を進めることで、子ども達の豊かな感性を育むことを促進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○専任園長会・副園長会との協議 ○取組内容・方向性の決定 ○取組の開始と予算化が必要な場合は、事業化に向け協議 ○4園で実施	○前年度決定した方針・内容に基づいて前年度実施以外の4園で実施	○平成27年度、平成28年度実施以外の4園で実施し、鳴門市内全園終了	○幼稚園による自主的活動の実施
事業費(千円)	116	108	116	-
市負担分(うち国費)	116(116)	108(108)	116(58)	
他団体負担分				
成果	アウトリーチ事業として、平成27年～29年において講師を派遣し、紙芝居などを利用した簡単な歴史背景の教示のほか、「第九」の主旋律を原語で歌いメロディーを覚えるなどの学習を実施し、一定の理解を深めることができた。			
NO.2	事業名	小学校での「なると第九」学習	担当	市教委・学校教育課
事業概要	児童が「なると第九」の歴史的背景を、鳴門市ドイツ館や板東俘虜収容所跡地等の現地研修を通し、理解できるような体制を整える。基礎的な知識を習得した上で「歓喜の歌」の主旋律を原語で歌い、歌詞の簡単な意味を理解できるように指導する。こうした学習を進めることで、郷土を愛する心を育てることを促進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○校長会・教育研究会各部会との協議 ○取組内容・方向性の決定 ○取組の開始と予算化が必要な場合は、事業化に向け協議 ○現地研修3校、校内学習を5校で実施	○現地研修を鳴門市内全校に拡大 ○校内学習を前年度実施以外の5校と実施済み1校で実施	○校内学習を平成27年度、平成28年度実施以外の5校で継続実施し、鳴門市内全校終了 ○現地研修を継続実施	○校内学習を13校で実施 ○現地研修を継続実施
事業費(千円)	180	532	623	575
市負担分(うち国費)	180(180)	532(532)	632(312)	575(288)
他団体負担分				
成果	アウトリーチ事業として、平成27年～29年において講師を派遣し、「第九」の歌詞の意味を理解した上で主旋律を原語で歌う学習を実施した。また、ドイツ館やドイツ村周辺の現地研修を市内全校で実施し、歴史的背景をより深く認知することにより、学習効果を高めることができた。			
NO.3	事業名	中学校での「なると第九」学習	担当	市教委・学校教育課
事業概要	生徒が、「なると第九」の歴史的背景についてより深い知識を習得することを目指すほか、「歓喜の歌」の主旋律を原語で暗譜でき、歌詞と曲の意味を理解できるような指導体制を整える。こうした学習を進めることで、豊かな心をもち、鳴門の文化を尊重し、郷土を誇りに思い愛する心を育てることを促進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○校長会・教育研究会各部会との協議 ○取組内容・方向性の決定 ○取組の開始と予算化が必要な場合は、事業化に向けての協議 ○1校で実施	○前年度決定した方針・内容に基づいた取組にて前年度実施以外の2校で実施	○平成27年度、平成28年度実施以外の1校継続実施し、鳴門市内全校終了	○中学校による自主的活動の実施
事業費(千円)	8	16	8	-
市負担分(うち国費)	8(8)	16(16)	8(4)	
他団体負担分				
成果	アウトリーチ事業として、平成27年～29年においてドイツ館長を講師として派遣し、歴史的背景をより深く学習した上で、「第九」の主旋律を原語で歌う学習を実施し、その効果を高めることができた。			

NO.4	事業名	「なると第九」学習活動発表会		担当	市教委・学校教育課	
事業概要	「なると第九」の歴史的背景を理解し、「歓喜の歌」を学んだ子どもたちが、劇や合唱、体験発表等、成果を披露出来る場を設置できるよう図る。様々な取組の成果を公開することにより、より一層、教育現場での取組の充実と進展を促進する。					
年次計画	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	○板東幼稚園、黒崎幼稚園、第一幼稚園 ○林崎小学校、撫養小学校 ○大麻中学校		○板東幼稚園、撫養幼稚園 ○鳴門西小学校、瀬戸小学校、撫養小学校、林崎小学校、明神小学校、板東小学校、堀江南小学校 ○大麻中学校		○幼小中により自主的活動の実施(文化祭・参観・発表会等)	
事業費(千円)		11		-		-
市負担分(うち国費)		11(11)				
他団体負担分						
成果	「第九」の歌唱練習や現地研修を実施した上で、学習発表会・人権集会・参観日などにおいて、歌唱発表会や学習発表会、さらには独自製作の歌劇発表会などを実施し、郷土の伝統や文化を受け継ごうとする活動に繋がった。					

NO.5	事業名	教職員の現地研修		担当	市教委・学校教育課	
事業概要	教職員がドイツ館や板東俘虜収容所跡地等を活用した現地研修を受けることで、「第九」アジア初演とその背景における基本的な歴史を子ども達に指導できる体制の整備を促進する。					
年次計画	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	○園長会・校長会等との協議 ○取組内容・方向性の決定 ○取組の開始と予算化が必要な場合は、事業化に向けての協議		○小中学校担当部会での現地研修の実施		○小中学校担当部会での現地研修の実施	
事業費(千円)		-		-		-
市負担分(うち国費)						
他団体負担分						
成果	小学校の音楽部会・教育研究総合部会・道徳部会などの部会において現地研修等を行い、「なると第九」の歴史的背景を深めるとともに、学習方法を検討するなど子どもたちの指導に繋がる活動となった。					

NO.6	事業名	小・中学校内での「第九」放送		担当	市・「第九」ブランド化推進室	
事業概要	鳴門市内の小中学校において、昼休みや掃除の時間等に放送機器を使用して「第九」のメロディーを流すことで「第九」に対する親しみを持たせ、愛着心の育成を図る。					
年次計画	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	○校内放送の可否等調査 ○校長会において事業内容説明		○継続実施 ○「第九」の音源を各学校に配布 ・弦楽4重奏+鉄琴 ・箏(こと)3重奏 ・ボーカロイド		○「第九」の音源の活用方法を検討	
事業費(千円)		-		10		-
市負担分(うち国費)				10		
他団体負担分						
成果	弦楽4重奏+鉄琴(徳島交響楽団製作)・箏(こと)3重奏(沢井箏曲院製作)・ボーカロイド(四国大学製作)の音源などを活用しやすいものを製作し、各学校に配布することにより活用の促進を図った。					

大項目2:学校教育以外の「なると第九」学習の推進

中項目1:「第九」演奏の次世代担い手育成

NO.7	事業名	ジュニアオーケストラへの参加促進		担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	徳島交響楽団が設立、育成しているジュニアオーケストラへ鳴門市内の子どもたちがさらに参加できるように新たに募集することで、「第九」演奏に係わる機会の拡大を図る。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○徳島交響楽団と検討協議	○事業実施 ○募集チラシを作成、配布	○継続実施	○継続実施	
事業費(千円)	-	30	30	30	
市負担分(うち国費)		30(30)	30(15)	30(15)	
他団体負担分					
成果	平成30年5月27日実施の、開幕イベント「子どもと大人のベートーヴェン『第九』交響曲演奏会」に、徳島交響楽団ジュニアオーケストラが出演することもあり、鳴門市内の子どもたちの育成も見据えて小・中・高生への募集チラシの配布を行った。数人の参加者があった。				

中項目2:「なると第九」関連事業や施設活用の推進

NO.8	事業名	市内図書館に「なると第九」コーナーを設置		担当	市教委・生涯学習人権課
事業概要	コーナーを作り特別配架することにより、「第九」の楽曲をはじめ、歴史的背景、また板東俘虜収容所で織りなされた友愛精神に基づく日独交流等に関する図書・資料を集約することで、認知度の向上を図る。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○特別コーナーを作り、「なると第九」に関する資料を集約 ○入手可能な資料を再調査 ○パンフレット等を設置	○図書館のサイトに「なると第九」ページを作成	○継続実施	○継続実施	
事業費(千円)	-	-	-	-	
市負担分(うち国費)					
他団体負担分					
成果	コーナーを作り特別配架することにより、「第九」の楽曲をはじめ、歴史的背景、また板東俘虜収容所で織りなされた友愛精神に基づく日独交流等に関する図書・資料を集約することで、「なると第九」の情報発信に効果的であり、また100周年の機運の醸成に繋がった。				

NO.9	事業名	小学校連合音楽会の活用		担当	小学校教育研究会音楽部会
事業概要	小学校連合音楽会で最後に行っている出席者全員の合唱で、「歓喜の歌」を歌うようにすることで、「第九」が鳴門市で象徴的な曲であるという意識の醸成を促進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○「歓喜の歌」を合唱し、その意味について出席者間で再確認	○継続実施	○継続実施	○継続実施	
事業費(千円)	-	-	-	-	
市負担分(うち国費)					
他団体負担分					
成果	小学校連合音楽会で最後に行っている出席者全員の合唱で、「歓喜の歌」を歌うようにしており、「第九」が鳴門市で特別な曲であるという意識を促進している。				

NO.10	事業名	板東俘虜収容所の史実を語り継ぐ事業	担当	NPO法人ドイツ村-BANDOロケ村-保存会
事業概要	「なると第九」の歴史的背景や現状について描かれた紙芝居や絵本等が制作されており、幅広い年齢層にこれらに触れてもらうことで、「なると第九」の啓発を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○紙芝居、絵本の広報活動 ○紙芝居の実演 ○講習会・イベント会場へ5回参加	○「なると第九」次世代育成事業の現地研修において実施 ○リューネブルク市親善使節団へ実施	○「なると第九」次世代育成事業の現地研修において実施	○継続実施
事業費(千円)	-	-	-	-
市負担分(うち国費)				
他団体負担分				
成果	NPO法人ドイツ村-BANDOロケ村保存会制作の紙芝居や絵本等の語り事業により、各種イベントにおいて、親しみやすく、またよりわかりやすく史実が伝えられ、「なると第九」の啓発促進に繋がった。			

NO.11	事業名	収容所をテーマにした劇公演の活用	担当	音楽劇「バンドー少年物語」実行委員会
事業概要	音楽劇「バンドー少年物語」実行委員会が行っている「バンドー少年物語」の劇公演を市内外で行うことで、「なると第九」の啓発を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○各種劇公演等について企画・立案及び事業の実施 ○WeLoveなると活動補助金を利用した活動	○各種イベントでのPR活動 ○WeLoveなると活動補助金を利用した活動	○継続実施	○継続実施
事業費(千円)	161	263	500	500
市負担分(うち国費)	161	263	500	450
他団体負担分				50
成果	音楽劇「バンドー少年物語」実行委員会の劇公演は、市内外の各種イベントにおいて精力的に活動を行い、幅広い対象への啓発と機運醸成を促進することができた。また、子どもたちを指導することにより、次世代育成の取り組みに繋がった。			

NO.12	事業名	鳴門市民への「なると第九」啓発	担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	鳴門市民に「なると第九」の歴史を知ってもらい、「歓喜の歌」を原語で歌えるような指導の機会を設けることで、「なると第九」の啓発を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○自治振興会の会議等で生涯学習まちづくり出前講座の活用 ○民間合唱団体への依頼 ○「第九」サポーター養成について検討 ○「第九」支援事業について検討	○生涯学習まちづくり出前講座を板東公民館で実施	○生涯学習まちづくり出前講座等の更なる活用方法を検討、実施	○継続実施
事業費(千円)	-	-	-	-
市負担分(うち国費)				
他団体負担分				
成果	まちづくり出前講座の活用やWe love なるとまちづくり活動応援補助金の活用団体との連携により、婦人会など各種団体に対して、「なると第九」の歴史及び「歓喜の歌」を教示することで、より市民への理解を深めることができた。			

NO.13	事業名	「第九」体操の創作、活用		担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	「第九」体操を創作し、チャレンジデー等を通して市民に活用してもらうことで、広報啓発を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○鳴門教育大学との協議 ○「第九」体操創作活動	○チャレンジデーでお披露目イベント実施 ○小中学校等に「第九」体操の音源・動画を配布 ○健康教室や「第九」合唱団計3回活用 ○WEBサイト掲載	○更なる普及のため周知、活用	○継続実施	
事業費(千円)	-	-	-	-	
市負担分(うち国費)					
他団体負担分					
成果	鳴門教育大学の頃安教授に制作を依頼し、チャレンジデーや第九関連の行事などで広めたほか、幼小中学校に音源と動画を配布し普及に努めた。				

NO.14	事業名	鳴門市職員への「なると第九」啓発		担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	鳴門市職員が「なると第九」の歴史を理解し、「歓喜の歌」を原語で歌えるような研修を行うとともに、庁内放送で「第九」のメロディーを流すことで、「なると第九」の啓発を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○全前年度の職員対象「なると第九」研修に引き続き、現地フィールドワーク研修実施 ○今後の職員啓発について検討、実施	○新規採用職員に対する研修実施	○継続実施	○継続実施	
事業費(千円)	-	-	-	-	
市負担分(うち国費)					
他団体負担分					
成果	全庁体制でプロジェクトに取り組んでいくために、職員に対して改めて「なると第九」の学習及びドイツ村公園(ドイツ館含む)周辺のフィールドワークを実施し、職員全体で機運を盛り上げ、広報周知していくことに繋がった。				

NO.15	事業名	放課後子ども教室を利用した「なると第九」学習		担当	市教委・生涯学習人権課
事業概要	放課後子ども教室事業において、「なると第九」学習を行い、「第九」を知ってもらい、より親しみを持ってもらえる体制づくりを推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○実行委員会で、事業についてコーディネーターに周知し、必要があれば講師の確保等について検討	○前年度における実績を検証し、更なる普及のため周知	○継続実施	○継続実施	
事業費(千円)	-	-	-	-	
市負担分(うち国費)					
他団体負担分					
成果	放課後子ども教室事業において、「なると第九」の学習メニューを盛り込み、活用を広げることに取り組んだが、メニュー活用の件数は少なかった。				

(3) 観光・広報部門

大項目1:「なると第九」関連資源を活用した誘客の推進

中項目1: 観光・商工面の充実

NO.1	事業名	ドイツ館の魅力増進		担当	市・「第九」ブランド化推進室・戦略企画課
事業概要	鳴門市ドイツ館を活用し、「なると第九」の魅力発信を行うとともに、ドイツ館自体の魅力増進を行うことで、「なると第九」の広報周知、ドイツ館の活性化を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○国立歴史民俗博物館展示事業の実施 ○ドイツ館周辺イルミネーション設置 ○展示内容・企画等について検討	○展示内容・企画等について検討 ○100周年記念事業について検討 ○巡回展示会実施 ○資料デジタル化・Webサイト及び史料検索システム構築 ○所蔵資料レプリカの製作	○板東俘虜収容所開所100周年記念事業の実施 ○ユネスコ「世界の記憶」関連事業の実施 ○ドイツ館周辺ウォーキングイベントの実施 ○ドイツ館周辺イルミネーション設置	○「第九」初演100周年記念事業実施 ○ユネスコ「世界の記憶」関連事業の実施 ○ドイツ館周辺ウォーキングイベントの実施	
事業費(千円)	2,926	10,858	14,880	10,070	
市負担分(うち国費)	2,066(900)	10,858(10,858)	14,880(7,440)	10,070(5,035)	
他団体負担分	860				
成果	所蔵資料のデジタル化を行い、Webサイトでアクセスできるようにしたほか、展示会やドイツ館周辺のイルミネーション設置事業等を実施し、情報発信に繋げることで、誘客を促進することができた。また、開所100周年記念事業等、ユネスコ「世界の記憶」関連事業の取り組みにより、その相				

NO.2	事業名	「なると第九」に特化した観光ルートの設定		担当	市・観光振興課・戦略企画課
事業概要	「なると第九」に関連させた様々な資源を、一体的に体験してもらえるような観光ルートを設定することで、「なると第九」の広報周知を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○「なると第九」関連資源の活用方法の検討 ○なると観光ボランティアガイド会によるドイツ村公園周辺観光案内	○「なると第九」魅力発信ツアー公募型プロポーザル実施(JTB) ○PR活動実施	○継続実施	○継続実施	
事業費(千円)	300	2,000	-	-	
市負担分(うち国費)	300(300)	2,000(2,000)			
他団体負担分					
成果	旅行会社等と連携して体験型旅行商品を3種類開発したほか、販売促進のため特設ページを設置しPRを行うなど、情報発信に繋げた。				

NO.3	事業名	「なると第九」・板東俘虜収容所に関連する商品の開発		担当	市・商工政策課・戦略企画課
事業概要	「なると第九」や板東俘虜収容所に関連した、オリジナル商品を開発し販売を目指すことで、「なると第九」の広報周知、地域活性化を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○商品開発に関する協力事業者・組合等の調査 ○商品開発に係る事前調査	○事業者・組合等と協議し、商品開発について検討 ○「なると第九」関連商品10種類の商品	○第九グルメの開発	○継続実施	
事業費(千円)	-	1,200	-	-	
市負担分(うち国費)		1,200(1,200)			
他団体負担分					
成果	民間団体に委託し、「なると第九」PRのための商品を10種類開発。「第九」関連イベントで販売したほか、なると物産館、鳴門市ドイツ館、道の駅「第九の里」にて販売促進を図った。また、民間と連携「第九グルメ」を開発し、PRに繋げた。				

中項目2:「第九」アジア初演100周年記念観光イベント事業の実施

NO.4	事業名	美術工芸展覧会などの再現イベントの実施	担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	板東俘虜収容所運営当時に行われた「美術工芸展覧会」をモチーフに、文化・交流をテーマにしたイベントをドイツ館周辺を中心に開催し、「なると第九」の広報周知、地域活性化を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○企画概要、イベント開催場所、連携団体等について検討	○イベント実施に係る運営委員会の設立について検討	○事業内容について検討	○従来のイベント「ドイチェスフェストinなると」と連携し、地元関連団体などと連携し開催
事業費(千円)	-	-	-	817
市負担分(うち国費)				817(409)
他団体負担分				
成果	これまで実施されてきたドイチェス・フェストinなるとのイベントをベースに、収容所当時に回歸し、謄写版印刷体験、ドイツのお菓子作り・おもちゃ体験等を実施した。また、地元大麻町商工会と連携し、大麻ものづくりフェアと題した物産・工芸品の販売や体験などを行うなど、地域活性化に繋			

NO.5	事業名	市制施行70周年記念事業でのイベント実施	担当	市・秘書広報課
事業概要	市制施行70周年にあたる平成29年に実施される記念事業に合わせ、「なると第九」に関するイベントを開催し、広報周知、地域活性化を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		○イベント実施内容について検討	○桂文枝創作落語公演会の開催	
事業費(千円)		-	600	-
市負担分(うち国費)		-	600(300)	
他団体負担分				
成果	落語家の桂文枝氏が制作した、板東俘虜収容所の史実をベースとした創作落語「鳴門第九物語」～ラーゲルに響く交響曲～が披露され、第九演奏会とコラボするなど話題性に富む記念事業となった。			

大項目2:「なると第九」の情報発信の強化

中項目1:「なると第九」ブランドの情報発信

NO.6	事業名	移動パネル展の開催	担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	「第九」アジア初演の歴史や、「なると第九」についての移動パネル展を行うとともに、100周年記念についての広報周知を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○展示会場の調査 ○無料展示会場にて出展	○架橋記念館(エディ)館内、徳島阿波踊り空港ロビー、阿波おどり会館内において実施	○徳島阿波踊り空港ロビー、阿波おどり会館内、文化の森において実施	○徳島阿波踊り空港ロビー、阿波おどり会館内、において実施
事業費(千円)	-	83	227	36
市負担分(うち国費)		83(83)	227(114)	36(18)
他団体負担分				
成果	「なると第九」を広く周知し、関連施設へのアクセスを促すため、観光客が多く利用する「阿波踊り空港」・「阿波踊り会館」・「文化の森二十一世紀館」での移動パネル展示を実施し、情報発信・誘客を促進した。			

NO.7	事業名	観光イベントにおける「なると第九」PR	担当	市・観光振興課・ボートレース企画課等
事業概要	阿波踊りや花火、徳島ヴォルティスの試合などの鳴門市内の大きな観光イベント及び市外の観光イベントを中心に「なると第九」の広報周知を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○ヴォルティスホームゲーム等でのPRの実施 ○ラッピングバスを活用したPRの実施	○ラッピングバスを活用したPRの実施 ○市内外の観光イベントにおけるPR実施 ○ボートレース鳴門での大型映像装置によるPR広告掲載及びPR動画の配信 ○ヴォルティスゲームでのPRの実施	○市内外の観光イベントにおけるPRの実施	○継続実施
事業費(千円)	432	100	-	-
市負担分(うち国費)	432	100		
他団体負担分				
成果	県内の多数のイベントにおいて、広報物品の配布や映像配信を行ったり、民間の「第九」活動(歌唱・劇など)と連携した広報宣伝活動を積極的に実施し、啓発に繋がった。			

NO.8	事業名	「なると第九」広報啓発事業	担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	「なると第九」啓発用のアイテムを製作するとともに、これらを多角的に活用することで、「なると第九」の広報周知を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○パンフレットのリニューアル ○のぼりの市内各所への配布 ○市内ゴミ収集車に広報用マグネットシールを装着 ○「第九の里なると」DVDの配布 ○マスコットキャラクターの製作	○旅行会社等への県外向けの広報 ○その他啓発方法についての検討	○FMラジオ放送全国番組放送政策 ○記録動画撮影	○鳴門「第九」のあゆみ英語版製作 ○FMラジオ全国番組放送製作 ○100周年記念事業 4K 動画撮影
事業費(千円)	1,811	1,862	5,311	7,828
市負担分(うち国費)	1,811(1,811)	1,862(1,862)	5,311(2,656)	7,828(3,914)
他団体負担分				
成果	ラジオ番組の制作、活動記録動画撮影、市内花いっぱいまちづくりなどによる広報活動を実施。また、のぼり・マスコット・マグネットシールなどを掲示したほか、広報用配布グッズを製作し、各種イベントなどで積極的に利用し広報活動に努めた。			

NO.9	事業名	「なると第九」強化月間	担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	「第九」アジア初演の日である6月1日を中心に設定されている鳴門市文化月間(5月15日～6月14日)を活用し、「なると第九」の町としての一体的な「なると第九」の広報周知を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○初演記念日の制定についての検討 ○強化月間の具体的方策について検討	○強化月間を実施 ○文化活動イベントでの広報周知及び啓発用グッズの配布	○継続実施	○継続実施
事業費(千円)	-	145	-	-
市負担分(うち国費)		145(145)	-	-
他団体負担分				
成果	鳴門市文化月間中に「第九」演奏会を開催することもあり、その出演者や観覧客のみならず、市民がこの期間中に盛り上がるようにするため、自治振興会などの協力を得てのぼりを設置したり、市展などのイベントに合わせてリーフレットの配布などを行った。			

NO.10	事業名	霊山寺からの誘客		担当	市・観光振興課・「第九」ブランド化推進室
事業概要	一番札所霊山寺には年間100万人ほどのお遍路さんや観光客が訪れることから、霊山寺と「なると第九」を関連づけて、「なると第九」関連資源への興味を促し、誘客に繋げることで地域活性化を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○霊山寺からの誘客方法の検討	○霊山寺やうずしお観光協会と連携したPRの実施	○継続実施	○霊山寺に「なると第九」リーフレット設置	
事業費(千円)	-	-	-	-	
市負担分(うち国費)					
他団体負担分					
成果	一番札所霊山寺内に「なると第九」広報関連のリーフレット常設の協力を得て、関連資源への興味を促し、誘客を促進した。				

NO.11	事業名	タクシー・バス等を活用した広報		担当	市・観光振興課・「第九」ブランド化推進室
事業概要	「なると第九」の歴史についての簡単な説明や、市内の「なると第九」関連資源の案内等を利用者にしてもらえるように運転手等への研修を行うなど、「なると第九」の広報周知を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○関係事業者と協議 ○広報の方法について検討	○協議・検討結果に基づき事業実施	○市内及び近隣のタクシー会社3社に「なると第九」広報ステッカー貼り付け	○100周年記念事業の案内及びリーフレットなどを各社に配布	
事業費(千円)	-	-	11	-	
市負担分(うち国費)			11(6)		
他団体負担分					
成果	徳島バスに協力を得て、関西圏と徳島を結ぶ高速バスにラッピングを行ったほか、市内及び近隣のタクシー会社3社に協力を得て「なると第九」広報ステッカーを車体に貼り付け、広報周知を高めた。また、100周年記念事業の案内及びリーフレットなどを各社に配布し、客への案内を推進し				

NO.12	事業名	市内各所で「第九」を流す		担当	市・鳴門市観光コンベンション
事業概要	市内各所で「第九」のメロディーを流すことで、市民だけでなく観光客等にも、「鳴門と言えば「第九）」というイメージを定着させ、「なると第九」の広報周知を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○「第九」のメロディーを流すことが出来る場所の検証 ○観光施設等との協議 ○第九の音源作成 ○防災行政無線及び高速なるとバス停への音響機器の設置	○継続実施 ○ボートレース鳴門において発売締切を知らせる音楽に「歓喜の歌」のメロディーを使用	○継続実施	○継続実施	
事業費(千円)	540	-	-	-	
市負担分(うち国費)	40(40)				
他団体負担分	500				
成果	鳴門市観光コンベンションにより、高速鳴門の到着口に「第九」メロディーの音響装置が設置されたほか、市内の防災行政無線屋外スピーカーからのメロディー音放送、ボートレース場での発売締め切りの音源など様々な場所での音源活用により、広報周知を促進した。				

NO.13	事業名	鳴門公園におけるPR	担当	市・観光振興課
事業概要	鳴門市で一番の観光スポットであり、渦潮が見られる鳴門公園内において、ドイツ村公園等「なると第九」関連資源が多数ある大麻町方面への誘客に繋げることで地域活性化を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○鳴門公園におけるPR方法の検討	○鳴門公園観光施設やうずしお観光協会と連携したPRの実施	○継続実施	
事業費(千円)	-	-	-	-
市負担分(うち国費)				
他団体負担分				
成果	「なると第九」を広く周知し、関連施設へのアクセスを促すため、大鳴門橋遊歩道「渦の道」において「なると第九」に関するパネルを設置し、広報周知を促進した。			

NO.14	事業名	市役所の電話保留音を「第九」に変更	担当	市・総務課
事業概要	市役所の電話保留音を「第九」のメロディーに変更することで、「なると第九」の広報周知を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○保留音変更実施	○「第九」のメロディーを新たなものに改良し事業完了		
事業費(千円)	-	-	-	-
市負担分(うち国費)				
他団体負担分				
成果	平成28年度より市役所庁内電話の保留音を、制作依頼した音源のうち箏を使った音源に設定し、広報周知を促進した。			

NO.15	事業名	映画「バルトの楽園」上映会	担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	2006年(平成18年)に公開された「バルトの楽園」を活用することにより、板東俘虜収容所の史実をよりわかりやすく発信し、「なると第九」の広報周知を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		○イベント実施内容について検討	○市内小中学校での映画「バルトの楽園」上映会	○「第九」アジア初演100周年記念開幕イベントとして、鳴門市文化会館で一般公開上映
事業費(千円)		-	1,297	692
市負担分(うち国費)		-	1,297(649)	692
他団体負担分				
成果	収容所開所100周年にあたる平成29年に、改めてその史実を認識するため鳴門市内小学校5年生から中学校3年生までを対象に各学校で上映を実施したほか、100周年事業の開幕イベントとして、鳴門市文化会館において無料で一般公開上映を実施し、認知度を高めた。			

NO.16	事業名	「なると第九」大使の設置		担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	PRのために広告塔として「なると第九」大使を設置することで、情報発信力を強化する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○人選及びPR内容について検討	○大使の設置、記者会見	○落語家の桂文枝氏「なると第九」PRマスターに就任 大阪で記者会見実施	○継続実施	
事業費(千円)	-	-	-	-	
市負担分(うち国費)					
他団体負担分					
成果	落語家の桂文枝氏に「なると第九」PRマスターに就任していただき、大阪で市長と共に記者会見を行うなど、「なると第九」の情報発信に繋がった。				

NO.17	事業名	県外での啓発・PRイベントの開催		担当	市・(一社)徳島新聞社
事業概要	県外でPRイベントを開催することで「なると第九」の広報周知を推進するとともに、「第九」アジア初演100周年へ向けての機運醸成を図る。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○京都イオン洛南店、淡路花博2015、淡路SA観光キャンペーン、京都鍋まつり等でのPR	○東京都内において福島民報社と連携し、フラッシュモブイベントを実施 ○東京2箇所でのパネル展示	○境港水産まつり、岡山観光キャラバンでのPR ○会津若松市で実施されたシンポジウムでのPR	○継続実施	
事業費(千円)		4,347	251	-	
市負担分(うち国費)		4,347(4,347)	251(126)		
他団体負担分					
成果	東京・名古屋・京都でのイベントや鳴門市フェアでパネル展などの広報周知活動を実施した。また、徳島新聞社等と連携し東京で「第九」フラッシュモブによるPRを行ったほか、会津若松市においてシンポジウムに参加するなど、県外に向けての広報発信に繋がった。				

中項目2:「第九」アジア初演100周年記念の情報発信

NO.18	事業名	「第九」アジア初演100周年記念の情報発信		担当	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進協議会
事業概要	100周年記念に関する情報を市内外に発信する際、推進協議会構成団体が相互に協力し、広報啓発の効果をより強力なものとなるよう連携を図る。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○加盟団体間の協力確認	○広報啓発体制の整備 ○広報啓発の実施	○継続実施	○継続実施	
事業費(千円)	-	-	-	-	
市負担分(うち国費)					
他団体負担分					
成果	100周年記念に関する情報を推進協議会内で共有し、構成団体が相互に協力し、独自の方法などにより広報啓発を推進した。				

(4)「第九」アジア初演100周年記念演奏会運営部門

大項目1:「第九」アジア初演100周年記念事業の実施

中項目1:記念演奏会の開催

NO.1	事業名	捕虜子孫の招待		担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	「第九」アジア初演100周年記念時において、「第九」アジア初演や、鳴門市に縁の深い方々を招待し、交流を深め、初演時の壮挙に立ち返るとともに、国内外に向けた「なると第九」の情報発信を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○捕虜子孫現況調査	○招待者の検討 ○受入体制について検討	○海外招待者に向けて案内	○「第九」アジア初演100周年記念事業への招待(式典・演奏会・シンポジウム・ドイツ館等見学等)	
事業費(千円)	-	-	-	3,000	
市負担分(うち国費)				3,000(1,500)	
他団体負担分					
成果	平成30年6月に実施した「第九」アジア初演100周年記念事業に招待したドイツ兵捕虜の子孫とその関係者25名が、ドイツ館やドイツ村公園を訪れたほか、記念式典他、演奏会など様々な事業に参加し、話題を集めた。当時の史実を改めて再確認するとともに、さらなる日独友好の絆を深				

NO.2	事業名	ドイツ連邦共和国関係者の招待		担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	「第九」アジア初演100周年記念時において、鳴門市に縁の深いドイツ連邦共和国関係者の方々を招待し、交流を深め、国内外に向けた「なると第九」の情報発信を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		○招待者の検討 ○受入体制について検討	○海外招待者に向けて案内	○「第九」アジア初演100周年記念事業への招待(式典・演奏会・シンポジウム・ドイツ館等見学等)	
事業費(千円)	-	-	-	100	
市負担分(うち国費)				100(50)	
他団体負担分					
成果	ドイツから大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事、独日協会連合会名誉会長、リュネブルク市長、リュネブルク市独日協会会長、ベートーヴェンハウス館長ほか関係者を招待し、記念式典他、演奏会など様々な事業に参加した。初演の年に両国で祝う意義を高め、さらなる友好の絆を				

NO.3	事業名	公募ソリストの起用		担当	認定NPO法人鳴門「第九」を歌う会・鳴門市
事業概要	「なると第九」の社会的認知や音楽文化の醸成のため、全国の若手ソリストの登竜門として公募している。これを継続実施し、記念演奏会で活用することで、「なると第九」の広報周知を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○全国から若手ソリストを公募し、公開オーディションを実施	○継続実施	○過去9回の歴代公募ソリストによるグランドチャンピオン大会実施	○全国から若手ソリストを公募し、公開オーディションを実施	
事業費(千円)			1,700		
市負担分(うち国費)				1,700	
他団体負担分					
成果	過去9回の歴代公募ソリストによるグランドチャンピオン大会として公開オーディションを実施し、優秀賞受賞者を第37回「第九」交響曲演奏会のソリストとして選出した。記念演奏会の意義を高めるとともに、「なるとの第九」の広報周知を促進した。				

NO.4	事業名	鳴門市に縁の深い指揮者の起用		担当	認定NPO法人鳴門「第九」を歌う会・鳴門市
事業概要	2018年(平成30年)6月3日(日)に実施される「第九」アジア初演100周年記念演奏会時において、鳴門市に縁の深い指揮者を招へいすることで、記念事業の話題性を高め、「なると第九」の認知度向上を図る。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○指揮者選定についての方策を検討	○指揮者を活用した演奏会以外の事業について検討	○指揮者の受入体制の検討	○「第九」アジア初演100周年記念演奏会に姉妹都市リューネブルク市からトーマス・ドーシュ氏を招聘	
事業費(千円)	-	-	-	840	
市負担分(うち国費)					840(420)
他団体負担分					
成果	姉妹都市リューネブルク市からリューネブルク劇場の音楽監督であるトーマス・ドーシュ氏を招聘し、第37回「第九」交響曲演奏会の指揮者として起用した。姉妹都市リューネブルク市との深い絆を象徴した演奏会となったとともに、多くのドイツ関係者も招待する中、記念演奏会の意義				

NO.5	事業名	海外からの出演者募集		担当	認定NPO法人鳴門「第九」を歌う会
事業概要	海外オーケストラ・合唱団の参加を促し、出演してもらうことで、海外における情報発信を含め、「なると第九」の広報周知を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○記念演奏会の概要について検討	○受入体制について検討 ○海外へのアナウンス	○受入体制の確定	○「第九」アジア初演100周年記念演奏会に独・米・中から出演	
事業費(千円)	-	-	-	-	
市負担分(うち国費)					
他団体負担分					
成果	第37回「第九」交響曲演奏会は、日・独・米・中の四カ国合同の合唱団となったほか、ドイツ兵子孫も参加するなど、「第九」演奏会を通じた国際交流と平和の象徴としての「なるとの第九」を国内外に情報発信することができた。				

NO.6	事業名	記念ワークショップの開催		担当	全日本「第九を歌う会」連合会
事業概要	2003年(平成15年度)から開催している「第九」ワークショップを拡大することで、「なると第九」の広報周知を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○記念ワークショップ実施内容について検討 (※27年度の経費:59千円)	○記念ワークショップ実施内容について検討 (※28年度の経費:120千円)	○実施の内容について総会において検討	○ドイツ・ボン市のベートーヴェンハウスから学芸員を講師として招聘し、講演会を実施	
事業費(千円)	-	-	-	764	
市負担分(うち国費)					
他団体負担分					
成果	ドイツ・ボン市のベートーヴェンハウスから学芸員を講師として招聘し、『交響曲第九番』の研究に関する講演会を開催した。第37回「第九」演奏会出演者が演奏会出場前に多く参加したほか、一般公開とし、さらに演奏会開催の意義を深めることができた。				

NO.7	事業名	ジュニアを中心とした「第九」演奏会の開催	担当	市・「第九」ブランド化推進室
事業概要	2018年(平成30年)5月27日(日)に鳴門市文化会館で実施される、ジュニアコーラス・ジュニアオーケストラによる「第九」第4楽章の演奏会を開催することで、次世代育成についての取組を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○演奏会開催に向けた事業企画案について検討	○演奏会の実施形態を決定 ○オーケストラの練習開始	○コーラスの募集及び練習開始	○「第九」アジア初演100周年記念開幕イベントとして、児童185名、大人95名の演奏会を実施
事業費(千円)	-	525	877	4,509
市負担分(うち国費)		525(525)	877(439)	4,509(1,398)
他団体負担分				
成果	オーケストラは徳島ジュニアオーケストラ、合唱は鳴門市内小学校4校に通う6年生の児童約200名と、認定NPO法人鳴門「第九」を歌う会の協力により、開幕イベントとして「第九」第4楽章の演奏会を開催した。次世代育成の一環としてつなげることができた。約1,200人の来場。			

NO.8	事業名	交流会での鳴門市のPR	担当	「なるとの第九」アフター交流会実行委員会
事業概要	交流会において、徳島県・鳴門市らしい飲食物や特産品の販売等を行う事で、鳴門市の商工観光面に寄与し、全国の第九を歌う会同士の交流をより深めるとともに、「なると第九」の広報周知を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○事業実施 ○改善に向けての反省会を開催	○継続実施 ○改善に向けての反省会を開催	○継続実施 ○100周年記念祝賀会について検討	○100周年記念祝賀会の開催
事業費(千円)	605	550	550	2,115
市負担分(うち国費)	76(76)	200(200)	200(100)	2,115(1,022)
他団体負担分	529	350	350	
成果	「第九」交響曲演奏会終了後の交流会として平成27年度から市民会館で開催し、多くの県外人を含む出演者らと心温まる演出で交流を深めるとともに、地場産品の飲食や販売など鳴門市のPRにもつなげることができた。約720人の来場。			

NO.9	事業名	2018年6月1日の「第九」演奏会の開催	担当	認定NPO法人鳴門「第九」を歌う会・鳴門市
事業概要	「第九」アジア初演100周年を迎える2018年(平成30年)6月1日(金)、100年前に回帰し初演への尊敬の念を込めた演奏会を行うことで、「なると第九」の広報周知を推進する。			
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	○演奏会開催に向けた事業企画案について検討	○開催場所、事業内容について関係者と検討	○事業詳細について関係者全体と協議 ○演奏会の内容を広報	○2018年6月1日(金)において、100年前と同時刻に鳴門市ドイツ館広場で演奏会実施
事業費(千円)	-	-	-	9,700
市負担分(うち国費)				9,700(2,595)
他団体負担分				
成果	100年前の「第九」初演の演奏会と同日時に野外で開催し、当時に合わせて男性ばかりの合唱にするなど、収容所の姿を模すような演出を行うことで初演に回帰し、また平和のシンボルとして世界に発信できる意義のある演奏会となった。約1,200人の来場。			

NO.10	事業名	第4回「第九」里帰り公演の開催		担当	第4回「第九」里帰り公演実行委員会
事業概要	鳴門市と姉妹都市であるドイツ・リューネブルク市において、過去に開催した「第九」里帰り公演を引き続き開催し、またこれに捕虜の子孫を招待する。演奏会には、ドイツ・リューネブルク市、中国・青島市、アメリカ・ロサンゼルス市・パサデナ市などに参加を促し、国際的な演奏会を行うことで、国内外に向けて「なると第九」の広報周知を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○演奏会の概要について確定 ○国際交流基金に申請	○参加者募集案内 ○事業実施(3月11日予定)			
事業費(千円)	-	49,000	-	-	
市負担分(うち国費)		1,000(1,000)			
他団体負担分		48,000			
成果	「第九」アジア初演100周年記念のイベントとして実行委員会を立ち上げ、日・独・米・中合同の第4回「里帰り公演」を姉妹都市リューネブルク市で開催した。捕虜の子孫を招くなど、「第九」による日独交流の絆をさらに深めるとともに、平和の願いを発信する事業となった。4カ国260人				

NO.11	事業名	「なると第九」関連会議等の開催		担当	(一社)徳島新聞社
事業概要	「第九」アジア初演100周年記念演奏会開催時に来鳴される、著名な又は鳴門市に縁を持つ有識者による、「なると第九」を題材にした会議等を行うことで「なると第九」の広報周知を推進する。				
年次計画	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	○実施内容の検討	○実施内容の検討 ○民間主催について検討する ○参加者の選定	○実施内容の検討 ○参加者への依頼	○「第九」初演100年日独シンポジウム「第九永遠なり」を開催	
事業費(千円)	-	-	-	1,897	
市負担分(うち国費)					
他団体負担分				1,897	
成果	ヴルフ元ドイツ大統領、リューネブルク市・メドケ市長、会津若松市・齋藤副市長、全日本「第九」を歌う連合会・亀井名誉会長、鳴門市・泉市長によるシンポジウムが徳島新聞社・福島民報社主催で実施された。「第九」が初演された意義が語られたほか、新たな100年に向けた取り組みについて意見交換が行われ、未来に向け、強い発進力を持った内容の会議となった。約180人来場。				

アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進協議会委員名簿

No.	氏名	所属等	備考
1	泉 理彦	鳴門市長	会長
2	中岸 敏昭	鳴門商工会議所会頭	副会長
3	大塚 道子	認定特定非営利活動法人鳴門「第九」を歌う会理事長	副会長
4	安原 裕人	日本放送協会徳島放送局局長	
5	平岡 理恵	株式会社テレビ鳴門取締役企画開発部長	
6	橋本 秀友	四国放送株式会社ラジオ営業部部長代理	
7	林 俊明	一般社団法人徳島新聞社事業局局長	
8	立花 浩史	株式会社エフエム徳島営業編成統括部長	
9	山口 雅人	株式会社エフエムびざん営業部プロデューサー	
10	田中 秋笹	大塚国際美術館常務理事	
11	村澤 由利子	鳴門日独友好協会会長	
12	井戸 慶治	ドイツ館史料研究会会長	
13	矢田 博嗣	一般財団法人徳島県観光協会理事長	
14	板東 力	一般社団法人鳴門市うずしお観光協会事務局長	
15	斎藤 忠恒	大麻町商工会会長	
16	縄田 浩明	一般社団法人鳴門板野青年会議所理事長	
17	益岡 道義	鳴門市自治振興連合会会長	
18	小山 雅規	鳴門市観光コンベンション株式会社代表取締役社長	
19	大石 雅章	国立大学法人鳴門教育大学理事兼副学長	
20	石川 功	鳴門市中学校校長会会長	
21	青木 敬治	鳴門市小学校校長会会長	
22	樽 理恵	鳴門市幼稚園園長会会長	
23	谷 重幸	鳴門市副市長	
24	安田 修	鳴門市教育委員会教育長	
25	山内 秀治	鳴門市企業局長	
26	三木 義文	鳴門市政策監	

オブザーバー

1	吉成 浩二	徳島県県民環部県民文化課課長	
2	木野内 敦	徳島県教育委員会教育文化課課長	